

エム・ピー・エム・王子エコエネルギー株式会社 八戸エコエネルギー発電所

【バイオマス発電】

国内最大級のバイオマス発電所 資源循環型社会の実現に貢献

バイオマスとは動植物由来の有機性資源のうち化石燃料を除いたものことで、太陽光や風力などと同じ再生可能エネルギーの一つ。バイオマス発電は間伐材などの廃棄物を燃料として有効活用できる、地球にやさしい発電方法といえます。

エム・ピー・エム・王子エコエネルギー(株)(MOE)は、王子グリーンリソース(株)と三菱製紙(株)の出資で、三菱製紙八戸工場の敷地内に設立されました。製紙事業で培ってきた発電設備や木質チップに関するノウハウと人材、臨海工業地帯のインフラを活用し、2019年9月から稼働開始。環境・経済性に配慮した海外植林地からの輸入材、パーム油を搾った後の椰子殻(PKS)、間伐材などの国内未利用材を燃料にボイラーで蒸気を作り、その力でタービンを回転させ発電機で発電しています。発電規模は年間5億kWhと、一般家庭約17万世帯分。国内最大級のバイオマス発電所です。



会社概要

■エム・ピー・エム・王子エコエネルギー株式会社 八戸エコエネルギー発電所

〒039-1161
八戸市大字河原木字海岸 35-10
Tel.0178-38-0508
HP: -

操業開始年月 2019年9月
従業員数 20名(2019年10月1日現在)



先輩の 声

敷地7haに蒸気温度500℃以上の ボイラー! デカくてアツい仕事。

バイオマス発電所としては国内最大級の当社は、敷地およそ7ヘクタール。東京ドーム約1.5個分もの広さです。この大規模な設備で仕事をしてみたくて、2017年に転職しました。工事の計画や発注、予算組みから、特級ボイラー技士とエネルギー管理士の資格を活かして



機械のメンテナンスなども担当しています。前職でもボイラーを扱っていたのですが、こんな大きいボイラーは初めて。作業間もないこともあって、今も勉強の毎日です。生活になくはない電気をつくる仕事で、地球温暖化防止にも貢献できることに誇りを持ってやっています。職場が4階(しかも階段!)なのが少ししんどいですが…(笑)。

